

### 廃棄物データシート(WDS)

1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。  
 2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 平成 年 月 日

記入者

1	排出事業者	名称	_____		所属	_____	
		所在地	〒 _____		担当者	TEL	_____
					FAX	_____	
2	廃棄物の名称						
3	廃棄物の組成・成分情報  (比率が高いと思われる順に記載)	主成分 他	MSDSがある場合、CAS No.				
		分析表添付(組成) ・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。					
4	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ		
	産業廃棄物 特別管理 産業廃棄物	その他( _____ ) 引火性廃油 引火性廃油(有害) 強酸 強酸(有害) 強アルカリ	強アルカリ(有害) 感染性廃棄物 PCB等 廃石綿等 指定下水汚泥	銻さい(有害) 燃えがら(有害) 廃油(有害) 汚泥(有害) 廃酸(有害)	廃アルカリ(有害) ばいじん(有害) 13号廃棄物(有害)		
5	特定有害廃棄物  ( )には 混入有りは、 無しは×、混入の 可能性があれば	アルキル水銀	( )	トリクロロエチレン	( )	1,3-ジクロロプロパン	( )
		水銀又はその化合物	( )	テトラクロロエチレン	( )	チウラム	( )
		カドミウム又はその化合物	( )	ジクロロメタン	( )	シマジン	( )
		鉛又はその化合物	( )	四塩化炭素	( )	チオベンカルブ	( )
		有機燐化合物	( )	1,2-ジクロロエタン	( )	ベンゼン	( )
		六価クロム化合物	( )	1,1-ジクロロエチレン	( )	セレン	( )
		砒素又はその化合物	( )	シス-1,2-ジクロロエチレン	( )	ダイオキシン類	( )
		シアン化合物	( )	1,1,1-トリクロロエタン	( )	1,4-ジオキサン	( )
		PCB	( )	1,1,2-トリクロロエタン	( )		
6	PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7	水道水源における 消毒副生成物 前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
		ヘキサメチレンテトラミン(HMT)		1,1-ジメチルヒドラジン(DMH)			
		N,N-ジメチルアニリン(DMAN)		トリメチルアミン(TMA)		テトラメチルエチレンジアミン(TMED)	
		N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA)		ジメチルアミノエタノール(DMAE)			
		生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
		アセトンジカルボン酸		1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール)			
		1,3,5-トリヒドロキシベンゼン		アセチルアセトン		2'-アミノアセトフェノン	
		3'-アミノアセトフェノン					
		生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) 臭化物(臭化カリウム等)					
8	その他含有物質  ( )には 混入有りは、 無しは×、混入の 可能性があれば	硫黄	( )	塩素	( )	臭素	( )
		ヨウ素	( )	フッ素	( )	炭酸	( )
		硝酸	( )	亜鉛	( )	ニッケル	( )
		銅	( )	アルミ	( )	アンモニア	( )
		ホウ素	( )	その他	( )		
		分析表添付(組成)					
9	有害特性	爆発性	引火性( )	可燃性	自然発火性( )	禁水性	

	(有・無・不明)	酸化性 毒性ガス発生 その他( )	有機過酸化物 慢性毒性	急性毒性 生態毒性	感染性 重合反応性	腐食性
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状( ) 沸点( )	臭い( ) 融点( )	色( ) 発熱量( )	比重( ) 粘度( )	pH( ) 水分( )
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入				
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭				
13	荷姿	容器( ) 車両( ) その他( )				
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) ( ) kg・t・リットル・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日				
15	特別注意事項  (有・無)	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法</li> <li>・他の廃棄物との混合禁止</li> <li>・粉じん爆発の可能性</li> <li>・容器腐食性の可能性 / 注意点</li> <li>・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性</li> <li>・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等</li> </ul>				

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・サンプル無・写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等

「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。工程図への記入でも可。  
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容